

第29期

ISFJ政策フォーラム

**Inter - university Seminar for the Future of Japan
2024**

ISFJ日本政策学生会議

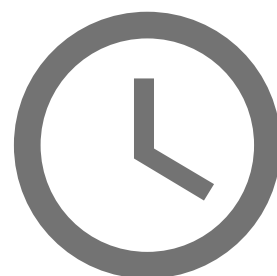
INDEX

目次

タイムスケジュール	・・・p.2
代表挨拶	・・・p.3
理念・沿革	・・・p.4
論文の評価について	・・・p.5~p.6
分科会別・参加論文一覧	・・・p.7~p.16
コメンテーター・論文審査員一覧	・・・p.18~p.24
ISFJ参加募集	・・・p.26
第29期運営委員一覧	・・・p.27
SNS	・・・p.30
協賛企業・後援団体	・・・p.31

TIME SCHEDULE

タイムスケジュール



Day2 12/1

会場：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーホール

09:30~10:00	参加者受付
10:30~10:40	開会式
10:40~10:55	協賛紹介
10:55~11:10	発表班紹介・発表準備
11:10~11:50	上位論文研究班①発表・質疑応答・講評
12:00~12:40	上位論文研究班②発表・質疑応答・講評
12:50~13:10	参加者の皆さまへのご講演
13:10~14:10	休憩
14:10~15:00	各種受賞班発表・表彰式
15:00~	総評・閉会式

MESSAGE

代表挨拶



Ariu

Taiyo

蟻生 大陽

上智大学 経済学部経済学科

積水成淵

新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、コロナ禍以前の生活を取り戻した今の私たちは、今まで停滞していた経済活動の再始動に伴う新しい問題に直面していくことになります。今の私たちに求められていることは、絶えず変化する社会情勢に気を配りつつ、今後の日本社会のあるべき姿を考え続けることではないでしょうか。

ISFJでは全国の志の高い学生に自身が考えた政策の実現に向けた発表の機会を提供しています。その過程で産官学それぞれの領域の専門家をお招きすることでより洗練された論文の作成を可能にし、本日の政策フォーラムにて発表されます。この大舞台で1年間の成果を遺憾なく発揮し、今日が皆様にとって思い出深い日になることを祈念しております。

今年でISFJの活動は29年になります。こうして当団体の活動を長く続けることができたのも、協賛してくださっている企業の皆様、参加研究会の皆様、各大学の先生方、ご指導いただいたシンクタンクの皆様のお力添えがあってこそのものであります。ご支援いただいております多くの方々にISFJを代表して感謝いたします。皆様のご期待に応えられますよう、今後とも運営委員一同精進してまいります。

「学生の政策提言による望ましい社会の実現」を目指して

ISFJ日本政策学生会議では、日本の未来を考える志高い学生たちの政策立案の支援と、政策の実現に向けた発表の機会を提供しています。

一般に政策とは、政治家や官僚といった国や自治体組織の担当者により慎重に考えられ、立案・提言されるものです。しかし、政策とは社会全体のためにあるのであり、政策担当者による一元的な立案・実現だけは望ましい社会の実現をすることはできないと私たちは考えます。その点において、学生による政策提言を積極的に行うことには大きな意味があると考えています。それを支援することが、ISFJ日本政策学生会議の役目です。

- 1994年 慶應義塾大学「竹中平蔵研究会」中室牧子氏の提案により、
ISFJの原型「21世紀の日本を考える会」結成
＜5大学／7研究会＞
- 2002年 組織名を「ISFJ日本政策学生会議」に変更
＜16大学／37研究会＞
- 2003年 初の関西シンポジウム開催
＜20大学／41研究会＞
- 2004年 論文掲載本の出版 ＜19大学／52研究会＞
- 2007年 論文掲載本の出版(学生からの政策提言2007)
＜26大学／66研究会＞
- 2009年 政策提言会を開催 ＜26大学／57研究会＞
- 2011年 広報部設立・政策合宿を実施
経済産業省・農林水産省の方々に直に提言を行う
＜25大学／69研究会＞
- 2013年 政策フォーラム、政策提言ツアーの実施
フォーラムでは年々論文のレベルが上がっているとの評価を
いただき、高評価を受けた政策を観光庁へ提言
- 2015年 20周年を迎える ＜25大学／54研究会＞

Evaluation

最優秀賞・優秀賞・奨励賞の審査方法

・ 審査の過程



【一次審査】すべての論文を審査

また、各分科会から点数評価の最も高い論文を選定

【二次審査】一次審査で選定された論文を審査し、上位10本の論文を選出

【特別論文審査会議】二次審査で選出された論文から、優れた論文5本を選出
また、選出した5本の論文から、最優秀政策提言賞(1本)
優秀政策提言賞(1本)、優秀賞(3本)を決定

・ 2024年度 論文評価システム

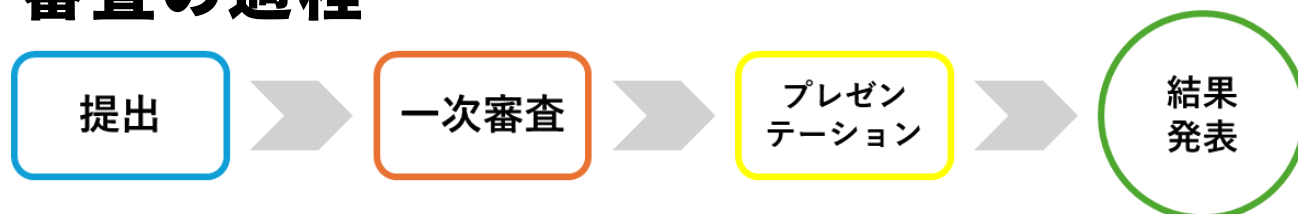
（最優秀政策提言賞、優秀政策提言賞、優秀賞：下記項目の論文審査のみで評価
分科会賞：下記項目で66点分を評価）

- | | |
|---|---------------------------------|
| A) 論文全体を通して、論旨が一貫し、読者にわかりやすい説明がなされているか | F) 分析に使用するデータ、推定方法が適切に選択されているか。 |
| B) 学術論文としての形式が整っているか。 | G) 分析結果が適切に解釈されているか。 |
| C) 現状分析を通して、何が問題なのかを明らかにしているか。 | H) 政策提言が分析に基づいて行われているか。 |
| D) 先行研究のレビューに基づいて、論文の位置づけ、独自性が述べられているか。 | I) 政策の効果が定性的、定量的に示されているか。 |
| E) 現状分析と先行研究のレビューに基づいて、分析の枠組み、検証すべき仮説等が適切に設定されているか。 | J) 政策の限界や実施に当たっての問題点等が議論されているか。 |
| | K) 日本の社会問題・政策課題の改善にどれだけ貢献できるか。 |

Evaluation

分科会賞の審査方法

・審査の過程



【一次審査】すべての論文を審査、66点満点で採点

【プレゼンテーション】政策フォーラム1日目のプレゼンテーションを34点満点で採点。
一次審査の採点結果とプレゼンを受けての採点結果から
分科会賞を選出

・2024年度 プレゼンテーション評価項目

（ 最優秀政策提言賞、優秀政策提言賞、優秀賞：論文審査のみで評価
分科会賞：下記項目で34点満点で評価 ）

①発表内容について

- 1)現状分析を通して、何が問題なのかを明らかにしているか。また、先行研究のレビューに基づいて、論文の位置づけ・独自性が述べられているか。
- 2)現状分析と先行研究のレビューに基づいて、分析の枠組み、検証すべき仮説等が適切に設定されているか。
- 3)分析に使用するデータ、推定方法が適切に選択され、分析結果について適切に解釈されているか。
- 4)政策提言が分析に基づいて行われているか。
- 5)政策の効果が定性的、定量的に示されているか。また、政策の限界や実施に当たっての問題点等が議論されているか。

②発表スキルとスタイルについて

- 1)聞き手に伝わる発表ができているか。また、質問に対する対応が適切かどうか。
- 2)資料内容が上手く表現されているか。また、誤字脱字がなく、正確に表記されているか。

PAPER LIST

分科会別・参加論文一覧

総数

30分科会

27大学

48研究会

116班



PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

医療

関西学院大学	栗田匡相	稲澤晃大	現金給付がマダガスカル農村の母親のメンタルヘルスに与える短期的な効果
同志社大学	迫田さやか	松井花穂	医師の診療科偏在の解消に向けて
立命館大学	須佐大樹	沖朋香	救急車の適正利用を目指して
大阪経済大学	岡島成治	土井遥斗	医薬品選択に潜むマークアップの影響

介護

中央大学	中村周史	高橋哲大	介護人材確保にむけて 介護難民解消のための政策提言
千葉大学	後藤剛志	鈴木しずく	介護報酬制度が介護労働者の賃金に与える影響
南山大学	寶多康弘	濱田悠乃介	介護人材不足度の都道府県格差に関する要因分析
明海大学	高橋義明	大城裕	介護サービス相談員派遣制度を普及させるために ～介護の質の改善を目指して～

環境・エネルギー①

明治大学	千田亮吉	二瓶萌恵	エシカル消費について
南山大学	鶴見哲也	豊田琴葉	衣服の大量廃棄からの脱却 ～愛着の持てる衣服の普及～
日本大学	豊福建太	二階堂慶人	企業構造から探るグリーンウォッシュ分析 ～「たねまき NISA」で長期的経営を～
日本大学	立福家徳	柴田直弥	家庭内食品ロスの削減に向けて ～より賢い消費者になる～
金沢大学	藤沢美恵子	松本大夏	エシカル消費をナッジする フェアトレードの事例から

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

環境・エネルギー②

名古屋市立大学	板倉健	太田結仁	水素の国際貿易
明治大学	末永啓一郎	阿出川萌唯	ベトナムにおける再生可能エネルギー普及と経済効果 ～再生可能エネルギー促進のための施策～
上智大学	釜賀浩平	江藤悠	再エネ普及を見据えた蓄電機能のある 調整力の確保を目指して
関西学院大学	西立野修平	大橋彩	間接ネットワーク効果と燃料電池自動車の普及政策 ～モビリティの多様化に向けて～

観光①

日本大学	豊福建太	荒井裕太	再生可能エネルギーを通じた産業観光の促進
兵庫県立大学	石黒靖子	中西泰成	インバウンドによる地域格差
関西学院大学	栗田匡相	稲積駿	関西国際空港出口調査における訪日外国人の 都市部外への誘客要因～兵庫県尼崎市に着目して～
慶應義塾大学	田邊勝巳	熊坂凜久	季節が与えるインバウンド観光への影響

観光②

山口大学	加藤真也	島田初音	互いに快適な観光環境の創造を目指して
長崎大学	鈴木崇文	山口昂耶	離島の観光振興
明治大学	畑農鋭矢	東島悠花	離島観光の要因分析

教育①

明治大学	山田知明	尼崎新	奨学金の再設計
大阪大学	大槻恒裕	石倉大幹	教育機会の格差解消に向けて
同志社大学	荒渡良	高岡蓮	少子化対策としての第一種奨学金拡充政策

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

教育②

熊本県立大学	本田圭市郎	横田彩夏	女子の理系進学の可能性向上 ー女子特有の心理的プロセスに基づいた政策提言ー
青山学院大学	安井健悟	稲垣吉朗	女子生徒の文理選択に与える影響
同志社大学	三好博昭	越智麟太郎	DX時代における文理統合の新しい教育モデル

教育③

青山学院大学	安井健悟	染井駿人	両親の時間的制約が子育てに与える影響
同志社大学	迫田さやか	岩井智哉	子どもの教育機会の平等実現へ -母子世帯の所得と時間についての実証分析-
明治学院大学	西村万里子	高木駿	シティズンシップ教育の実践的学習と学校運営の 生徒参加による効果-学校での政治的関心と 政治的内的有効性感の向上における考察-
慶応義塾大学	土居丈朗	細川登矢	定量的な分析に基づいた子どもたちの QOL向上に向けた政策提言

教育④

慶応義塾大学	田邊勝巳	高田朱莉	博士号取得者の特許数と企業採用の分析 ーキャリアパスの拡大への政策提言ー
慶応義塾大学	松浦寿幸	山田拓実	国立大学の法人統合基準に関する政策提言
千葉大学	大石亜希子	武藤健太	信頼とメディアリテラシー -誤情報に騙されないために-
同志社大学	風間規男	森島一帆	シティズンシップ教育プログラム開発のための 附置研究所新設の提案

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

金融財政

慶応義塾大学	土居丈朗	安藤潤星	高等学校就学支援制度の都道府県格差とその是正
新潟大学	小川顕正	佐藤瑠威	下請け化するNPO法人の要因分析 ～NPO法人がより活躍する社会の実現を目指して～
日本大学	鶴田大輔	牛窪祥花	株式市場の健全化を目的とした不正会計防止政策 ～企業データを活用した実証分析～
南山大学	寶多康弘	大角壮泰	ネット社会におけるクレジットカード不正利用 被害額増加の要因分析

経済産業①

慶応義塾大学	松浦寿幸	依田彩花里	モーダルシフト促進の政策評価について
明治大学	畑農鋭矢	丸山憲耶	飲食店におけるキャッシュレス決済化の要因分析 ～東京23区と市町村の比較～
日本大学	豊福建太	湯澤寛規	多重下請け構造の解消と中小企業の交渉力強化

経済産業②

明治大学	山田知明	菊盛大悟	転売行為の現状分析と適切な価格設定について
明治大学	畑農鋭矢	城戸弥起	企業の倒産要因分析
日本大学	鶴田大輔	旭将利	ライフステージ別融資からみた創業融資の分析 ～銀行の創業融資を促進させるための政策提言～

行政①

慶応義塾大学	松浦寿幸	川辺真美子	望ましい行政による結婚支援のあり方
明治大学	加藤久和	柄澤頻輝	子育てしやすい環境を構築するための要因分析 ～若年女性の転入と子どもの増加の関係から考える～
明治大学	中村周史	北原孝太郎	地域活性化のための政策提言 ～消滅可能性自治体の脱却要因を探る～

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学

研究会

代表者

タイトル

明海大学

高橋義明

丸山きづな

AIマッチングシステム
「TOKYO縁結び」の普及に向けて

行政②

大阪大学

大槻恒裕

生田悠稀

東京都における住み替え促進の検討

大阪大学

赤井伸郎

西田実富結

大規模地震災害を見据えた水道基幹管路耐震化の実現
～DX化・広域化の観点から～

明治大学

千田亮吉

原田進之介

コンパクトシティ形成による商業活性化に関する分析

明治大学

畑農鋭矢

太田魁人

社会経済情勢による犯罪要因分析

国際

関西学院大学

西立野修平

辻本匠

BRIとの対抗の中で「国益と開発」を目指す
インフラ輸出の在り方とは？

関西学院大学

亀田啓悟

大西隆弥

価格弾力性が貿易収支に与える影響
～日本における理想値と現状の乖離から導く政策提言～

慶応義塾大学

松浦寿幸

三澤颯

日本酒輸出促進のための実証データ分析

法政大学

小黒一正

籠谷悠生

移民と経済成長の関係

明治大学

末永啓一郎

吉川岳玖

FDI政策によるベトナム国内製造業の生産性、
技術スピルオーバーへの影響
～水平・垂直スピルオーバーから検証～

社会保障①

上智大学

釜賀浩平

内藤麻優子

被保護世帯の自立促進に向けた就労支援の課題
～ケースワーカーの役割と制度の最適化～

兵庫県立大学

石黒靖子

林柊大

年金財政の健全性

明治大学

千田亮吉

五郎丸圭太

従事率の向上による介護士不足の解消

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

社会保障②

中央大学	中村周史	石田千尋	被災後の生活再建に向けた支援に関する政策提言
名古屋市立大学	平賀一希	東山咲綺	貧困層の大学進学率の格差
日本大学	立福家徳	土屋杏弥	児童虐待の削減に向けて
神戸大学	松林洋一	杉田葵衣	子ども食堂の活性化を目指して

少子高齢化

山口大学	加藤真也	高橋虎之介	若年女性の移動から考える少子化対策 ～地方の転出超過が出生率に与える影響～
同志社大学	三好博昭	渡部佑亮	シェアハウスによる少子化対策
法政大学	小黒一正	松山愛雅	社会保険料負担が少子化に与える影響
明治大学	千田亮吉	樋山裕記	少子化社会における未婚化対策について
日本大学	立福家徳	鶴見りんか	独居老人の幸福度に関する実証分析

地方創生①

千葉大学	後藤剛志	福田悠太	地方の担い手確保に向けた政策提言
日本大学	鶴田大輔	須川大輝	空き家活用による地方創生
明治学院大学	西村万里子	泉水律紀	若者の価値観と祭り文化の融合による地域活性化モデル の構築～湯河原やっさまつりをモデルとする～
長崎大学	鈴木崇文	田原瑞季	持続可能な地域スポーツクラブを目指して ～地域総合型スポーツクラブで長崎を活性化～

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

地方創生②

神戸大学	松林洋一	奥村美月	コンパクトシティ化に伴う近郊エリアの農地活用 ～中長期的な関西圏の創生に向けて～
大阪経済大学	岡島成治	角崎瞬	平成の市町村合併と定住自立圏の政策評価 ～令和における市町村合併の新戦略～
慶応義塾大学	土居丈朗	石黒美羽	都道府県間の物流格差の是正に向けて

地方創生③

明治学院大学	西村万里子	阿部唯花	道の駅はどのように地方創生に貢献できるか
山口大学	加藤真也	住野敬太	人材からみる自治体DXの推進
慶応義塾大学	土居丈朗	錦古里克彦	オーバートーリズムの緩和による地方創生
同志社大学	迫田さやか	中島央皓	DID分析を用いた聖地巡礼の実証分析

都市交通①

一橋大学	佐藤主光	小出幹太	中小事業者の鉄道路線の存廃分析
同志社大学	三好博昭	乾珠双楽	後期高齢者のための新たな移動手段の提案 ～あうたすバスの導入～
法政大学	小黒一正	玉井優衣	ライドシェア普及による経済成長への期待

都市交通②

創価大学	金澤伸幸	穴戸光希	高齢者ドライバーによる事故を防ぐために
同志社大学	荒渡良	荘所圭輔	京都市営バスの『混雑』に関する政策
慶応義塾大学	田邊勝巳	中濱遼太	公共交通の変化がもたらす医療費・健康への影響

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

都市交通③

中央大学	飯島大邦	工藤美咲	多様な移動手段の活用による 持続可能な都市運営に向けて
神戸大学	松林洋一	河上友哉	過疎地域におけるドローン物流の更なる発展に向けて
日本大学	鶴田大輔	串野涼平	老朽化したインフラの取捨選択を行うための政策提言 ～すべてのインフラを修繕する必要があるのだろうか～

農林水産

関西学院大学	栗田匡相	三浦晃正	マダガスカル農村におけるPAPRIZ普及
熊本県立大学	本田圭市郎	山口颯太	～外食産業における食べ残し削減 ー独自アンケートを用いた消費者意識分析に 基づく政策提言ー
慶応義塾大学	田邊勝巳	石橋遼太	森林環境譲与税のあるべきすがた
山口大学	加藤真也	村田照真	持続可能な酪農の実現を目指して ～国産チーズに着目した政策提言～
同志社大学	迫田さやか	佐々木貴湧	北海道南東周辺海域の漁獲量実証分析

防災

明治学院大学	西村万里子	田中颯大	被災者・自治体同士が助け合える避難所の環境生成に向けて ～大規模災害時の心強い拠点作成へ～
山口大学	加藤真也	山下颯太	港湾岸壁の効果的な維持管理に向けて ～岸壁の性能低下度に基づく修繕要因の分析～
大阪大学	赤井伸郎	林美佳	浸水被害による資産損失の低減に向けて ～地理情報データによる浸水リスク地域の分析～
同志社大学	迫田さやか	諸隈義宗	東日本大震災とコロナ禍から見るBCPの有効性
熊本県立大学	本田圭市郎	園田未亜	被災地における若年女性人口の維持 ー合成コントロール法を用いた熊本地震の影響に 関する因果推論ー

PAPER LIST 分科会別・参加論文一覧

大学 研究会 代表者 タイトル

労働雇用①

南山大学	鶴見哲也	加藤千夏	労働生産性向上のための休暇の質改善に関する政策提言
同志社大学	荒渡良	田中琉樹	選択的週休3日制の導入について ～仕事満足度の向上を目指して～
関西学院大学	栗田匡相	石坂航流	エジプトの中小企業における労働生産性の決定要因
神戸大学	勇上和史	林仁大	職場環境や人事管理を視点とした 長時間労働問題の改善策

労働雇用②

明治大学	千田亮吉	倉橋隼太	配偶者控除が与える、女性の労働供給への影響
慶応義塾大学	山田篤裕	大滝礼	外国人介護労働者と介護ロボット導入による 介護労働者の賃上げ効果
明海大学	高橋義明	皆川峻也	企業はなぜスポットワーカーを雇うのか
神戸大学	勇上和史	東昂之介	有給休暇取得の要因分析
明治大学	畑農鋭矢	手塚大晴	男女間賃金格差の要因分析

労働雇用③

南山大学	鶴見哲也	松沢実空	ブルシット・ジョブの改善による生産性の向上について
慶応義塾大学	山田篤裕	根本凌太郎	女性管理職比率を高めるには
中京大学	深堀遼太郎	定別當和磨	職場のハラスメント
神戸大学	勇上和史	橋本翼	同一労働同一賃金原則の有効化政策

MEMO

[illegible]

EXAMINER LIST

コメンテーター・論文審査員一覧

中間発表会コメンテーター
政策フォーラムコメンテーター
論文審査員
特別論文審査員



EXAMINER LIST

コメンテーター 一覧

○2日目政策フォーラム コメンテーター・ゲスト(敬称略)

尾関健治 松下政経塾 塾頭

○中間発表コメンテーター(敬称略)

- | | | |
|------------|---|--|
| ● 医療 | 池田俊也
河野敏鑑 | 国際医療福祉大学大学院医学研究科教授
専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報
学科准教授 |
| ● 介護 | 高山一夫
田村元樹 | 京都橘大学経済学部教授
株式会社パーソル総合研究所シンクタンク本部
研究員 |
| ● 環境・エネルギー | 岡島成治
小川健 | 大阪経済大学経済学部経済学科准教授
専修大学経済学部専修大学大学院経済学研究科教授 |
| ● 観光 | 麻生憲一
平賀一希
赤井伸郎
田中伸彦 | 帝京大学経済学部観光経営学科教授
名古屋市立大学大学院経済学研究科経済専攻准教授
大阪大学大学院国際公共政策研究科長
東海大学観光学部観光学科教授 |
| ● 教育 | 深見俊崇
吉田文
千田亮吉
加藤久和
安井健悟
黒田雄太
佐々木亮 | 島根大学教育学部教授
早稲田大学教育・総合科学学術院教授
明治大学商学部専任教授
明治大学政治経済学部教授
青山学院大学経済学部経済学科教授
大阪公立大学大学院経済学研究科准教授
聖心女子大学国際交流学科専任講師 |
| ● 金融財政 | 後藤剛志
津田栄
豊福建太 | 千葉大学大学院社会科学研究院経済学研究部門講師
皇學館大学特別招聘教授
日本大学経済学部教授 |
| ● 経済産業 | 荒渡良
鶴田大輔
荻野義雄
松浦寿幸
松崎隆司 | 同志社大学経済学部教授
日本大学経済学部教授
元三井住友銀行勤務
慶応義塾大学産業研究所教授
経済ジャーナリスト |
| ● 行政 | 河村和徳
立福家徳
原田峻平
本田圭市郎 | 東北大学大学院情報科学研究科准教授
日本大学法学部政治経済学科准教授
名古屋市立大学データサイエンス学部准教授
熊本県立大学総合管理学部准教授 |

EXAMINER LIST コメンテーター 一覧

● 国際	石黒靖子 鈴木崇文 鈴木裕輔	兵庫県立大学国際商経学部教授 長崎大学経済学部教授 名城大学外国語学部准教授
● 社会保障	飯島大邦 佐久間美智雄 三好博昭 金澤伸幸 神野真敏 高橋義明	中央大学経済学部教授 東北文教大学短期大学部子ども学科教授 同志社大学政策学部教授 創価大学経済学部准教授 南山大学経済学部教授 明海大学経済学部教授
● 少子高齢化	石川智基 三好向洋	医療経済研究機構研究部主席研究員 愛知学院大学経済学部専任講師
● 地方創生	堀内史朗 村岡敬明 風間規男 肥塚直人	阪南大学総合情報学部教授 大和大学情報学部情報学科准教授 同志社大学政策学部政策学科教授 三菱UFJリサーチ&コンサルティング政策研究事業本部経済財政政策部部長上席主任研究員
● 都市交通	今井龍一 田邊勝巳 須佐大樹 西立野修平 近藤恵介	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授 慶應義塾大学商学部教授 立命館大学経済学部准教授 関西学院大学総合政策学部教授 独立行政法人経済産業研究所神戸大学経済経営研究所准教授
● 農林水産	藤澤美恵子 八木浩平	金沢大学人間社会研究域経済学経営学系教授 神戸大学大学院農学研究科食料環境経済学講座准教授
● 防災	川村匡由 中條寛	武蔵野大学名誉教授 株式会社三菱総合研究所DXコンサルティング本部長 (ビジネスコンサルティング本部副本部長)
● 労働雇用	黄光偉 岸智子 八代尚宏 山田篤裕 高野哲彰 中村周史 野坂博南 山田修	上智大学大学院地球環境学研究科教授 南山大学経済学部経済学科教授 昭和女子大学生生活機構研究科福祉社会研究専攻特命教授 慶應義塾大学経済学部教授 武蔵大学経済学部金融学科助教 中央大学総合政策学部准教授 関西大学経済学部教授 キャリアコンサルタント産業カウンセラー

EXAMINER LIST

コメンテーター 一覧

○政策フォーラムコメンテーター(敬称略)

● 医療	岩本康志 芦田登代 海老原諭	東京大学大学院経済学研究科教授 東京大学経済学研究科特任研究員 和光大学 経済経営学部 経営学科 教授
● 介護	殷婷	独立行政法人経済産業研究所・研究員
● 環境・エネルギー	加藤真也 有賀健高 鶴田大輔 小川健	山口大学経済学部観光政策学科准教授 埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授 日本大学 経済学部 金融公共経済学科 教授 専修大学経済学部教授
● 観光	平賀一希 東徹 谷脇茂樹 崔瑛	名古屋市立大学大学院経済学研究科経済専攻准教授 立教大学観光学部観光学科教授 玉川大学観光学部観光学科准教授 神奈川大学 国際日本学部国際文化交流学科
● 教育	木田竜太郎 平井明代 千田亮吉 松戸結佳	関西福祉科学大学教育学部教育学科 子ども発達教育専攻教授 筑波大学人文社会系教授 明治大学商学部教授 東海大学総合教育センター資格教育センター学校 教育学系特任助教
● 金融財政	木村範子 安井健悟 後藤剛志 漆畑春彦	筑波大学人間系講師 青山学院大学経済学部経済学科教授 千葉大学大学院社会科学研究院経済学研究部門講師 平成国際大学法学部教授
● 経済産業	荻野義雄 松崎隆司 末永啓一郎 松浦寿幸	元三井住友銀行勤務 経済ジャーナリスト 明治大学 政治経済学部 教授 慶応義塾大学産業研究所教授
● 行政	立福家徳 黒田敏史 上久保誠人	日本大学法学部政治経済学科准教授 東京経済大学経済学部准教授 立命館大学政策科学部教授
● 国際	板倉健	名古屋市立大学マネジメントシステム学科 経済学専攻教授
● 社会保障	鈴木裕輔 飯島大邦 高橋義明 三好博昭 金澤伸幸	名城大学外国語学部准教授 中央大学経済学部教授 明海大学経済学部教授 同志社大学政策学部政策学科教授 創価大学経済学部准教授

EXAMINER LIST

コメンテーター 一覧

- 少子高齢化
 - 迫田さやか 同志社大学経済学部准教授
 - 斉藤知洋 国立社会保障・人口問題研究所
社会保障基礎理論研究部研究員
- 地方創生
 - 山口泰史 帝京大学経済学部地域経済学科教授
 - 久隆浩 近畿大学総合社会学部総合社会学科教授
 - 石黒直也 (東芝・マイクロン出身)日本半導体政策渉外
エグゼクティブ
- 都市交通
 - 林靖人 信州大学学術研究院教授
 - 竹本亨 日本大学法学部政治経済学科教授
 - 野村実 大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科講師
 - 田邊勝巳 慶應義塾大学商学部教授
 - 藤澤美恵子 金沢大学人間社会研究域経済学経営学系教授
 - 西立野修平 関西学院大学総合政策学部教授
 - 岡田啓 東京都市大学環境学部教授
 - 須佐大樹 立命館大学 経済学部 准教授
 - 長谷川大輔 東京大学不動産イノベーション研究センター特任助教
 - 八木浩平 神戸大学大学院農学研究科食料環境経済学講座
准教授
- 農林水産
 - 作山巧 明治大学農学部教授
- 防災
 - 福谷陽 関東学院大学理工学部理工学科土木学系教授
- 労働雇用
 - 中條覚 株式会社三菱総合研究所モビリティ・通信事業本部長
 - 小林徹 高崎経済大学経済学部教授
 - 深井太洋 学習院大学経済学部准教授
 - 高野哲彰 武蔵大学経済学部金融学科助教
 - 山田修 キャリアコンサルタント産業カウンセラー
 - 奥山尚子 横浜国立大学大学院環境情報研究院准教授
 - 川上淳之 東洋大学経済学部経済学科教授

○論文審査員一覧(敬称略)

- 医療
 - 池田俊也 国際医療福祉大学大学院医学研究科教授
 - 田村潤 常翔学園広島国際大学健康科学部医療経営学科教授
 - 高山一夫 京都橘大学経済学部教授
- 介護
 - 勇上和史 神戸大学 大学院 経済学研究科 教授
 - 杉原太郎 東京科学大学 環境・社会理工学院 准教授
- 環境・エネルギー
 - 鈴木高広 近畿大学生物理工学部生物工学科教授
 - 岡島成治 大阪経済大学経済学部経済学科准教授
 - 鶴見哲也 南山大学政策学部教授
 - 寶多康弘 南山大学経済学部経済学科教授

EXAMINER LIST

コメンテーター 一覧

- | | | |
|---------|-------------------------------------|---|
| ● 観光 | 村上嘉代子
朝水宗彦
森重昌之
岡本直久 | 芝浦工業大学工学部
山口大学経済学部観光政策学科教授
阪南大学国際学部国際観光学科教授
筑波大学システム情報系教授 |
| ● 教育 | 吉田文
黒田雄太
腰越滋 | 早稲田大学教育・総合科学学術院教授
大阪公立大学 大学院経済学研究科 准教授
東京学芸大学教育学部総合教育科学系教育学講座
准教授 |
| | 深見俊崇
西本裕輝
東陽平
青田庄真
陳炯楷 | 島根大学教育学部教授
琉球大学グローバル教育支援機構教授
明治大学商学研究科 博士後期課程3年
茨城大学教育学部助教授
早稲田大学博士1年 |
| ● 金融財政 | 塩谷雅弘
豊福建太
畑農鋭矢 | 大阪学院大学経済学部教授
日本大学経済学部教授
明治大学商学部教授・財務省財務総合政策研究所
特別研究官 |
| ● 経済産業 | 關智一
山田知明
荒渡良
杉田伸樹 | 立教大学経済学部会計ファイナンス学科教授
明治大学 商学部 専任教授
同志社大学経済学部 教授
立命館大学経済学部特任教授 |
| ● 行政 | 金井利之
蔡秀卿
湯浅孝康
山谷清秀 | 東京大学大学院法学部教授
立命館大学 政策科学部政策科学科 教授
大阪国際大学経営経済学部経済学科准教授
大阪経済大学 国際共創学部 講師 |
| ● 国際 | 鈴木崇文
武田巧
松林洋一
石黒靖子
佐々木亮 | 長崎大学経済学部教授
明治大学政治経済学部教授
神戸大学大学院経済学研究科経済学専攻教授
兵庫県立大学国際商経学部教授
聖心女子大学国際交流学科 専任講師 |
| ● 社会保障 | 益子行弘
西村万里子
佐久間美智雄
釜賀浩平 | 浦和大学社会学部総合福祉学科准教授
明治学院大学法学部政治学科教授
東北文教大学短期大学部子ども学科教授
上智大学経済学部経済学科教授 |
| ● 少子高齢化 | 筒井淳也
石川智基
宮里尚三 | 立命館大学 産業社会学部 教授
医療経済研究機構研究部主席研究員
日本大学経済学部教授 |
| ● 地方創生 | 村岡敬明 | 大和大学 情報学部 情報学科 准教授 |

EXAMINER LIST コメンテーター 一覧

	堀内史朗	阪南大学 総合情報学部 教授
	風間規男	同志社大学政策学部政策学科教授
	中澤克佳	東洋大学経済学部総合政策学科教授
	山田光矢	日本大学大学院非常勤講師
	小田切康彦	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 (社会総合科学域) 准教授
● 都市交通	岡室博之	一橋大学大学院経済学研究科教授
	安達晃史	同志社大学政策学部 准教授
	高橋愛典	近畿大学経営学部 商学科 教授
	久隆浩	近畿大学総合社会学部総合社会学科教授
	新納克広	奈良県立大学名誉教授
	浅田義久	日本大学経済学部特任教授
	近藤恵介	独立行政法人経済産業研究所 神戸大学経済経営 研究所准教授
	荒谷太郎	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
● 農林水産	今井龍一	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授
	北野慎一	京都大学大学院農学研究科准教授
	浅賀宏昭	明治大学商学部教授
● 防災	崔青林	北海道大学社会科学実験研究センター博士研究員
	佐藤翔輔	東北大学災害科学国際研究所 准教授
	加藤久和	明治大学政治経済学部教授
● 労働雇用	山田篤裕	慶應義塾大学経済学部教授
	寺村絵里子	明海大学経済学部教授
	松尾孝一	青山学院大学経済学部教授
	岸智子	南山大学経済学部経済学科教授
	八代尚宏	昭和女子大学生活機構研究科福祉社会研究専攻 特命教授
	深堀遼太郎	中京大学経済学部経済学科准教授
	森川正之	一橋大学経済研究所特任教授兼独立行政法人 経済産業研究所所長

○特別論文審査員一覧(敬称略)

赤井伸郎	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
加藤久和	明治大学政治経済学部教授
亀田啓悟	関西学院大学総合政策学部教授
佐藤主光	一橋大学大学院経済学研究科教授
千田亮吉	明治大学商学部教授
本田圭市郎	熊本県立大学総合管理学部教授

MEMO

[illegible]

CALL FOR ISFJ

ISFJ参加募集

ISFJ参加ゼミ募集

ISFJ日本政策学生会議は、「学生の政策提言による、望ましい社会の実現」を目指して活動するインゼミ形式の政策シンクタンクです。政策提言を通して、学生という立場から社会を変えていくことを目的としています。

現在、ISFJ2025年における参加研究会を募集しています。参加される場合、毎年9月頃に行われる中間発表会、12月初旬に行われる政策フォーラムに向けて、論文執筆を進めていただきます。

学生という立場を最大限に生かして社会を変えていく理念に共感し、高い問題意識を持った学生が毎年多く参加しています。多くの研究会のご参加をお待ちしています。

ISFJ運営委員募集

ISFJ日本政策学生会議では、2025年度（第30期）の運営委員を募集しています。ISFJは20年以上の歴史ある団体であり、日本最大規模の学生政策立案コンテストを企画・運営しています。

運営委員は事業企画部・研究室担当部・審査員渉外部・企業渉外部・広報部の5つの部署に分かれ、仕事を行います。参加者・講師などの大人数を相手にして、組織を運営していくことや、官僚、学者、シンクタンク研究員、民間企業など社会の最前線の方々との関わりを持つことは、自分の将来のビジョンを描く上で貴重な体験となります。

ご興味をお持ちの方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

STAFF 運営委員

代表
副代表

蟻生大陽
中村心美

上智大学
明治大学

事業企画部	前田裕奈 酒井沙菜 岡崎祐真 原田結花 二瓶萌恵 井上絢加 浅野香菜子 須川大輝 西山翔一朗	明治大学 (部長) 明治大学 (部長) 上智大学 (副部長) 熊本県立大学 (副部長) 明治大学 明治大学 日本大学 日本大学 慶応義塾大学	企業渉外部	原田進之介 久保田流緒 菱沼陸人 青山拓生 谷尾颯太 高橋幸星 前原大成 沢田隼乙 佐藤日南 玉村紘己 橋本堅 渡邊千紘 田中琉樹 近坂日向 三好希実	明治大学 (部長) 法政大学 (部長) 明治大学 (副部長) 法政大学 (副部長) 明治大学 明治大学 明治大学 慶応義塾大学 慶応義塾大学 関西学院大学 関西学院大学 千葉大学 同志社大学 南山大学 大阪大学
研究室担当部	二階堂慶人 杉村優花 濱尾颯太 吉田雪乃 鍋井茉莉明 水野瑛太	日本大学 (部長) 名古屋市立大学 (部長) 山口大学 (副部長) 同志社大学 (副部長) 大阪経済大学 大阪大学			
審査員渉外部	佐藤有 太田魁人 阪本祐貴 川辺真美子 山田拓実 増田萌 横田晴也 荘所圭輔 高岡蓮 松本亜季 橋井万季 加藤来実 柴田光 森香桜 五箇春花 三谷凌功 吉田菜乃花 小出幹太 村上乃亜 大橋彩 栗林舞 伊藤誠 小嶋珠貴 長谷川光 菊池慶悟 内海聡介	明治学院大学 (部長) 明治大学 明治大学 慶應義塾大学 慶應義塾大学 同志社大学 同志社大学 同志社大学 同志社大学 同志社大学 同志社大学 日本大学 日本大学 日本大学 日本大学 兵庫県立大学 兵庫県立大学 一橋大学 青山学院大学 関西学院大学 上智大学 新潟大学 神戸大学 南山大学 明海大学 大阪大学	広報部	中原南海 貞弘結菜 西村夏海 榎原杏里 土門弓月 高橋未波	熊本県立大学(部長) 山口大学(副部長) 同志社大学 明治大学 一橋大学 明治学院大学

28

29

ISFJ公式XとInstagramが登場！

フォローをお願いいたします！



Instagram : @isfj_since1994c
X(Twitter) : @ISFJ_JPN

PARTNERSHIP

協賛企業・後援団体

協賛企業

株式会社マイナビ
キャリアスタート株式会社

後援団体

公益財団法人 松下政経塾



松下政経塾